

## 重点事業の主な決算

各種事業の決算額は次のとおりです。

**総務費**▶住民基本台帳ネットワークシステムの整備...2,343万5,964円▶男女共同参画啓発冊子作成事業...97万6,500円

**民生費**▶成年後見制度利用支援事業...46万6,900円▶社会福祉会館駐車場用地の取得...9,791万5,215円▶ホームヘルプサービス事業の充実(精神障害者・難病者)...3,546万8,983円▶手話通訳者派遣事業...295万802円▶学童保育室土曜保育時間の延長...63万5,120円▶延長保育事業(12時間)の実施圏の拡大...1,413万8,966円▶学童保育室新設事業...1,848万円

**衛生費**▶生活習慣病予防対策事業...4億7,511万9,749円▶くぬぎ山地区自然再生事業...2億698万4,677円▶焼却灰セメント資源化事業...1億3,938万1,588円▶天然ガスごみ収集車整備事業...1,333万5,000円▶し尿処理施設更新事業...5億7,255万5,268円

**労働費**▶失業者能力向上指導事業...300万円

**農林水産業費**▶基盤整備促進事業...4,445万円

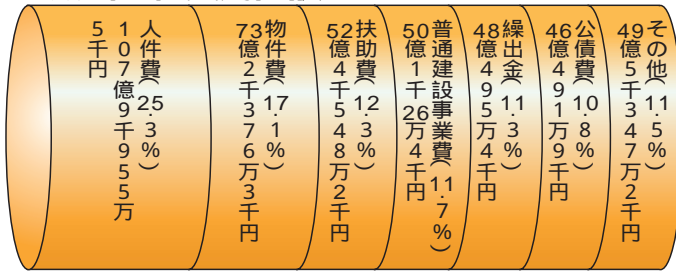
**商工費**▶中小企業経営支援相談事業...240万円▶小規模事業経営支援相談事業...700万円▶中心市街地等商業活性化支援事業...200万円▶空き店舗対策事業...493万4,777円

**土木費**▶大規模流通業務施設立地区域排水施設整備事業...1,000万円▶狭山市駅西口第1種市街地再開発事業...525万円▶新都市機能ゾーン整備事業...5,746万8,324円▶柏原新狭山線整備事業...4億4,209万7,254円▶狭山市駅東口土地区画整理事業...8億2,960万6,082円

**消防費**▶消防団施設整備事業...3,282万3,000円▶小型動力ポンプ付水槽車更新事業...2,908万5,000円▶消防ポンプ自動車更新事業(2台)...3,423万円

**教育費**▶生徒指導支援員配置事業...1,045万円▶教育情報ネットワーク整備事業...6,369万8,027円▶小学校校舎大規模改修事業...8,514万3,000円▶中学校教育用コンピュータ更新事業...3,385万8,720円▶国体テニスコート会場整備事業...2億2,944万9,400円

## 歳出の性質別内訳(グラフ3)



## 市民一人当たりに使われたお金(表1)

項目	金額
民生費	63,665円
総務費	43,614円
土木費	39,740円
衛生費	33,982円
教育費	30,907円
公債費	28,428円
消防費	11,485円
商工費	4,189円
労働費	3,068円
農林水産業費	2,420円
議会費	2,145円
諸支出金	212円
合計	263,855円

## 市民一人当たりが負担した市税(表2)

項目	金額
市民税	74,082円
固定資産税	63,360円
都市計画税	7,222円
市たばこ税	5,603円
軽自動車税	744円
特別土地保有税	12円
市税総額	151,023円

## 歳入歳出総額

区分	歳入(円)	歳出(円)
一般会計	446億3,525万6,524	427億4,240万9,323
特別会計		
国民健康保険	102億1,865万7,458	96億4,578万1,054
下水道事業	43億9,669万5,296	40億9,992万1,614
老人保健	92億2,391万7,288	89億6,283万6,119
上広瀬土地区画整理事業	4億4,345万7,829	3億3,943万7,520
狭山市駅東口土地区画整理事業	10億6,918万0,079	9億4,176万9,822
介護保険	36億6,415万1,842	36億1,504万4,515
合計	736億5,131万6,316	703億4,719万9,967

## 平成14年度水道事業会計の決算状況

平成14年度水道事業会計決算が認定されましたので、お知らせします。

### 収益的収入および支出

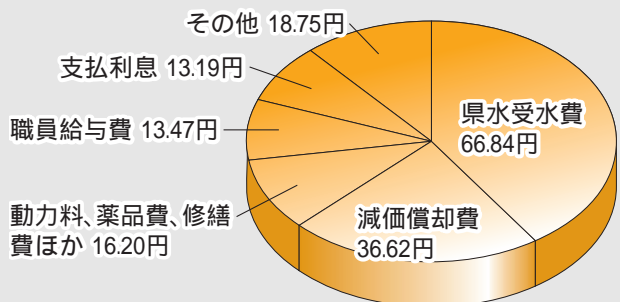
収入33億1,945万4,990円 支出31億7,068万1,536円  
利益剰余金1億2,031万2,726円は、減価積立金および利益積立金に積み立てました。

### 資本的収益および支出

収入1億5,253万8,250円 支出9億7,993万2,596円  
不足額8億2,739万4,346円は、内部留保資金などで補てんしました。

### 給水原価の内訳

水道水1m<sup>3</sup>当たりの給水原価(製造価格)は、165.07円です。



問合せ水道業務課へ内線2312

# 歳入歳出の内訳 平成14年度の決算状況

平成14年度の一般会計決算がまとまり、第4回定例市議会で認定されました。市の財政の中心となる一般会計における歳入決算額が446億3,525万6,524円、歳出決算額が427億4,240万9,323円となりました。今月は、私たちの税金がどのように使われているか、お知らせします。

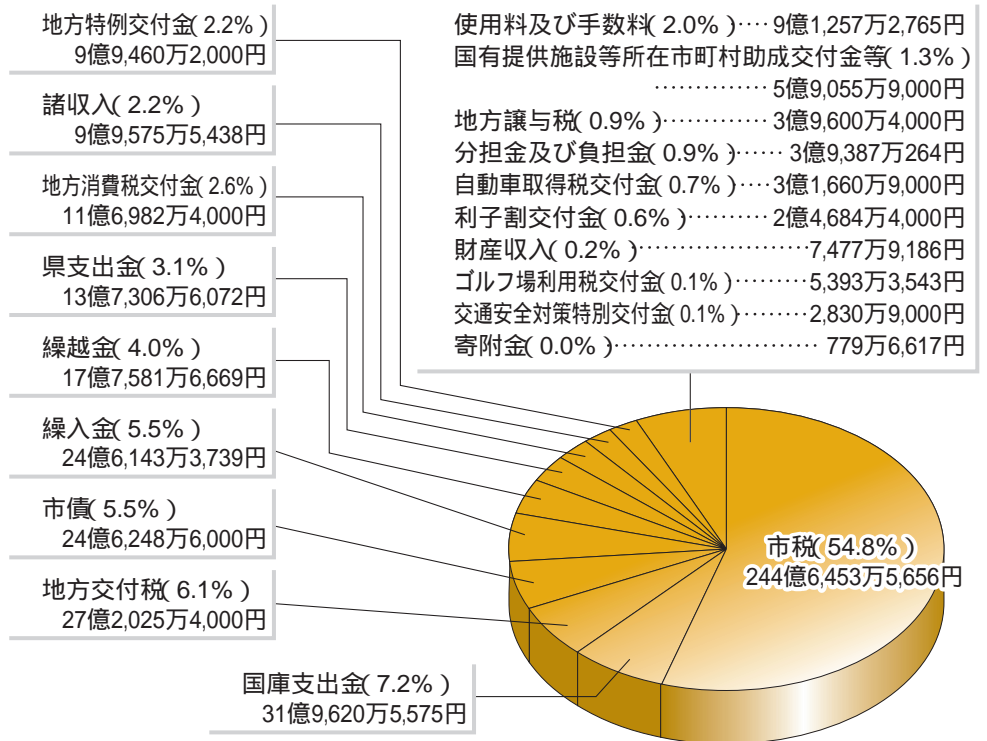
問合せ財政課へ内線7113

## 歳入

総額 446億3,525万6,524円(グラフ1)

歳入は、市の財源として入ってくるお金です。その決算額は、446億3,525万6,524円で、前年度に比べ0.04%増えました。

グラフ1は、その内訳を表したものです。市税は、歳入の半分以上を占め、法人市民税の増額により前年度比3.3%の増となりました。次に多いのは国庫支出金ですが、これは国からの負担金や補助金で、16年度開催の国体に向けたテニスコート整備事業が前年度でおおむね終了したことなどで、6.1%の減となりました。続いて地方交付税、市債、繰入金、繰越金、県支出金、地方消費税交付金、諸収入などの順になっています。



総額 427億4,240万9,323円(グラフ2)

## 歳出

歳出は、市民皆さんのために使われるお金です。その決算額は427億4,240万9,323円で、前年度に比べ0.2%減りました。

グラフ2は、歳出を目的別に表したものです。民生費が最も多く、高齢者・障害者・児童などの福祉増進などが主なもので、前年度比3.2%の増となりました。

グラフ3は、歳出を性質別に表したもので、最も多いのは人件費です。職員の給与が主なもので、前年度比0.7%の減となりました。続いて物品購入や業務委託などの物件費、福祉サービスなどに使われる扶助費などの順になっています。

表4は、市税と目的別歳出を市民皆一人当たりに換算したものです。市税は151,023円で前年度比3.1%の増、歳出は263,855円で0.4%の減です。

なお、歳入歳出の差額は、平成15年度に繰り越しました。

